

大豆だより

第6号

令和5年10月11日発行
西村山農業技術普及課
TEL：0237-86-8287

「シュウリュウ」などの早生品種は落葉が進み、すでに成熟期を迎えている圃場もあります。

今年は高温の影響で、収穫適期が早まる見込みです。収穫時期を見極め、早めの準備で適期に収穫しましょう！

1 汚損粒対策

雑草や青立ち株があると茎葉の水分が子実が付着して、汚損粒の原因となります。

- ☑ 収穫の妨げになる、アメリカセンダングサなどの大型雑草や帰化アサガオ類などのつる性の雑草は事前に抜取りを徹底しましょう。
- ☑ 青立ち株も雑草とあわせて抜取りましょう。
- ☑ 収穫時には、コンバインに泥や土を掻き込まないように、刈取りの高さには十分注意しましょう。



アメリカセンダングサ



帰化アサガオ類



青立ち株

2 適期収穫

秋は天候が変わりやすく、収穫作業のできる日が限られます。コンバインや乾燥機の点検整備を早めに行い、収穫の準備を進めましょう。収穫開始の目安は、成熟期（完全落葉し、莢が品種特有の色となる時期）の1週間後です。

【収穫時の注意点】

- ☑ 品種によっては、成熟期後日数が経過すると、裂皮粒や腐敗粒が多発し品質低下を招きやすいので、成熟期後20日程度を晩限の目安に刈取りを行いましょう。
- ☑ 未脱粒の増加を防ぐため、収穫作業は、露のない時間帯（11時～16時頃）に行いましょう。

【収穫適期の目安】

- ① 完全に落葉している。
- ② 子実や莢の水分 **20%以下** → 莢を振ると、カラカラ鳴る
- ③ 茎水分 **60%以下** → 茎がポキッと折れる



圃場ごとに①～③を確認し、収穫時期を見極めましょう！



河北町 10/2 シュウリュウ

3 適切な乾燥作業

乾燥時の送風温度が高すぎるとしわ粒や裂皮粒が増加します。適切な乾燥を行きましょう。

- ☑仕上げ水分は 15%以下としましょう。
- ☑収穫後は、直ちに乾燥機に張り込み通風します。
- ☑火力乾燥機を用いる場合は、送風温度を 30℃以下とし、子実水分が高い場合や張り込み量が少ない場合は、送風温度を若干低めにして急激な乾燥を避けましょう。
- ☑乾燥時は、水分ムラの発生を防ぐため、随時攪拌しましょう。

4 丁寧な調製作業

調製作業は、品質向上を図る上で重要な作業です。丁寧な調製作業で高品質大豆に仕上げましょう。

- ☑「里のほほえみ」等の大粒種は 7.9mm 以上、中粒種は 7.3mm 以上の網目で選別し、粒揃い良く仕上げましょう。
- ☑障害粒（破碎粒、奇形粒、虫害粒）は、粒径選別機等で完全に除去しましょう。
- ☑紫斑粒や褐斑粒は、色彩選別機等で除去し、高品質な大豆に仕上げましょう。
- ☑汚損粒が発生した場合は、大豆クリーナーを上手に利用しましょう。裂皮粒やしわ粒の多い大豆は、クリーニングすると碎粒になりやすいので注意が必要です。

STOP 農作業事故！ 転落・転倒事故を防止しましょう！
機械の点検は必ずエンジンを止めて、動かないことを確認してから行いましょう！

LINE を活用した情報提供を行っています。
QR コードを読み取り登録の上、ぜひご活用ください！

